会員のひろば

IT パスポートを受験して

峯　村　伸　哉

1. はじめに

IT パスポートは、IT 社会の基本知識習得を目的とした国家資格試験です。情報工学や電気電子等の技術士の方には易しい試験ですが、森林分野の私にはハードルの高い試験でした。本誌を読まれる方の中にはこの資格の取得を考えておられる方もいるかと思い、この試験のことを書いてみます。

2. 試験範囲、合格基準など

試験範囲は、会社経営全般にかかわるストラテジ分野、システム開発にかかわるマネジメント分野、コンピュータ活用に関わるテクノロジ分野の 3 分野です。2019 年 4 月からは、全分野で AI（人工知能）や IoT（モノのインターネット）等の、新しい IT 技術や手法の出題が増えているようです。

試験の詳細は主催者の IPA（情報処理推進機構）のホームページに載っています。問題数は 100 題、6 割以上を得点し、かつ上記 3 分野で各 3 割以上を得点して合格です。試験は道内では札幌、旭川、帯広などで、毎月行われています。

3. 学習の進め方

基礎知識を分かりやすく記述した参考書を購入し、熟読後、過去問を解きます。平成 21 年からの試験問題が公開されており、インターネットには、過去問の解説つきホームページもあります。

この試験では SLA や BPR といった横文字の略語が頻出します。これをマスターするには、もとの単語の発音と意味を覚えます。例えば SLA はサービス・レベル・アグリーメントの略で、サービスの提供者と利用者が取り交わす合意文書となります。

簡単な計算問題も毎回数題だされています。

4. 試験問題の解答方法

試験は、パソコン画面を使う CBT 方式で行われます。問題文を読み、4 つの選択肢の中から正解と思われるものをクリックします。後でもう一度見直したい問題にはマークをつけておきます。計算問題を解く用紙と筆記用具は貸与されます。

私はまず文章問題を 1 問 1 分を目安にとき、計算問題は後でまとめてやりました。文章を読んで判断する思考回路と計算の回路とは異なると思うので、このやり方がよかったと思っています。

所定の 2 時間が経過するとすぐに採点が始まり、画面に下のような結果が表示されます。

採点結果表示画面の一部

評価点		
総合評価点		745 点
分野別評価点	ストラテジ系	730 点
	マネジメント系	730 点
	テクノロジ系	720 点

5. おわりに

人手不足に対処する技術として IT の利用分野はこれから急拡大すると思われ、この試験の持つ意味は大きいと感じました。

峯　村　伸　哉（みねむら　のぶや）
技術士（森林部門）

農学博士